

新報

島根県教育庁
隠岐教育事務所
隠岐の島町港町塩口24
電話2-9772

学校支援計画を 振り返って

今年度も管内の各学校には
隠岐教育事務所の重点施策等
にご理解とご協力をいただき
まして、大変ありがとうございました。

これまでの「学校訪問指導
実施要項」を見直し、本年度
は、新たに「学校支援計画」
として方針を立てました。

先日ご協力いただいた学校
支援計画に関する調査結果と
合わせて一年間を振り返りま
す。「指導主事の支援は、各
学校の教育活動やOJTの充
実に生かすことができるもの
でしたか。」という質問に対
し、どの支援に対しても「十
分できた」「できた」という
評価を得ており、概ね学校の
期待に応えることができました。
「十分できた」と回答の

あつた割合を見てみると、

I 担当者への支援

A 学力育成 59%
(前年度37%)

B 生徒指導 65% (41%)

C 特別支援 65% (41%)

II 学校・教育団体等への支援

D 授業づくり 69% (62%)
でした。

「I 担当者への支援」では、
研究、生徒指導、特別支援教
育等、組織的な取組の推進役
を担う担当者への支援を行
いました。

A 学力育成

管内研究主任会を二回実施
しました。「研究主任が集ま
って各校の取組や悩み等を共
有できたことは良かった。」
等、会の実施には大変高い評
価をいただきました。今後も
継続し、各校の校内研究がさ
らに充実したものとなるよう
努めます。

B 生徒指導

定期の訪問を通し、各学校
の実態や要望を把握し、相談
に乗ったり助言指導を行った
りしました。隠岐教研生徒指
導部会からの申請により、各
校の生徒指導担当者と共に研
究を深めることができました。
教研との連携は大変有意
義で、今後も継続していき
たいです。

C 特別支援

「計画訪問で明確になった
課題や児童への関わり方につ
いて、継続して支援してもら
い大変助かった。」「定期の訪
問以外に、学級・担任支援を
中心に複数回訪問してもら
い助かった。」等のご意見を多
くいただいています。今後も
各校の体制がさらに充実した
ものとなるよう努めます。

II 学校教育団体等への支援

では、「学校の必要に応じて
活用してもらえるもの」とい
う考え方で、全て学校等から
の申請希望による訪問とし
ました。
今年度の訪問回数は、事前
相談・特別支援教育に係る訪
問・派遣指導主事による訪問

を除いて、

小学校一校あたり約五回

(前年度 約二回)

中学校一校あたり約二回

(前年度 約一回)

でした。「年間を通して、相
談に乗ってもらったり、励ま
してもらったりして助かっ
た。」「授業公開前に一緒に指
導の仕方を考えてもらったこ
とで、研究を充実させること
ができた。」「学校の要望に沿
って、柔軟に対応してもらえ
て助かった。」等のご意見も
いただきました。

訪問の内容も、これまでの
授業公開・研究協議による申
請訪問に加え、「指定事業へ
の研究継続支援」「若手の授
業づくり支援」「年間を通し
た定期的な授業参観及び支
援」「校内研修の講師」など、
学校等の要望により様々な広
がりがありました。いずれも事前の
相談から活用していただい
ている点が大きな特徴です。今
後も学校等の実態に合わせた
支援に努めてまいります。

来年度も今年度と同じ考え
方、方法での支援を計画して

社会教育を 振り返って

【ふるさと教育の充実】

「ふるさと教育ネットワー
ク会議」等で「社会に開かれ
た教育課程」についての情報
提供を行う等、関係者に学校
と地域が連携協働していくこ
とについて理解していただく
機会を設け始めています。学
校と地域がさらに連携協働で
きるようにするための話し合
いの場を、既存の組織を活用
し、より機能するよう各町村
教委で情報交換し、推進体制
が構築できるよう支援してい
きます。

(文責 森)

と関連する内容の講義とセッ
トにした実践があり、学びが
より深まる取組となりました。
【地域を担う人材の育成】
公民館職員はもとより、社
会教育施設職員等の人材育成
を、東部社会教育研修センタ
ー協力のもと、各町村の課題
に基づいて研修を企画し、左
記の通り実施しました。

「親しみやすい施設づくり
研修」 (西ノ島町)

「事業パワーアップ研修」
(隠岐の島町)

「親学ファシリテーター養
成講座」 (知夫村)

「地域づくりを学ぶ参加型
学習体験研修」 (海士町)

各町村の人材育成に関する
課題から企画された研修で
したが、参加対象を隠岐全地域
にすることで、他町村からも
個人の力量を高める場として
活用していただくことができ
ました。

今後は、これらの研修を受
けられた方々が地域を担う人
の育成に役立てられるよう支
援していきます。

(文責 吉山)